

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自主防災行動力向上事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合(木曾広域消防本部) (0264-24-3119)
事業区分	(4)安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,006,050円(うち支援金:1,324,000円)

事業内容

- 1 消防フェアの開催
 - (1) 日時: 10月6日(日) 10時から13時
 - (2) 場所: 木曾町福島3737 木曾広域消防本部
 - (3) 概要: 体験型消防フェアを通じて、自主防災行動力の向上を図る。
- 2 年間を通して実施する自主防災行動力向上事業
 - (1) 緊急通報訓練装置による通報訓練(学校等)
 - (2) AEDトレーナーを活用した救命講習
 - (3) トリアージテントを活用した医療救護訓練



【緊急通報体験の様子】

【目標・ねらい】

- ①体験型消防フェアの充実
- ②消防フェア来場者の増加
- ③自主防災行動力の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用して、防災教材等の充実が図るとともに、体験型消防フェアの充実が図れた。
- ②ポスター掲示等による広報拡充により、消防フェアの来場者の増加が図れた。(対前年20%増)
- ③消防フェアを通じて、自主防災行動力の向上が図れた。

※自己評価【A】

【理由】

- ・消防フェア来場者が前年より20%増加した。
- ・アンケート結果で、「とても満足」の回答が83%あった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今後の課題として、来場者の増加のみを主目的とするのではなく、様々な世代に各教材を活用した体験をしてもらうため、各町村と調整しながら開催会場を輪番方式で開催することを検討していく。
- ・各町村輪番制にすることで、消防団との連携が充実し、同時に消防団の活動紹介や、消防団員募集なども実施できると考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある